

北キプロス・ビジネスガイド

1. 北キプロスへの渡航

- ① 日本から北キプロスへの直行便はなく、トルコで、キプロス・トルコ航空(KTHY)、トルコ航空(THY)やトルコの民間航空会社が運行する北キプロス便に乗り換える必要がある。
- ② イスタンブール国際空港から北キプロスのエルジャン空港へは、北キプロス航空、トルコ航空が毎日運行。所要時間1時間15分。運賃は往復120～150ドル程度。イズミル、アンカラ、アダナ、アンタルヤからも便がある。なおKTHYは、トルコ経由で英国便を運航している。
 - ・トルコ航空
<http://www.turkishairlines.com/>
 - ・北キプロス航空
<http://www.kthy.net/>
- ③ トルコからは、海路の利用も可能。トルコ南部・メルシンから北キプロス・ガーズィマウサまでフェリーが運航しており、所要時間3時間。また、トルコ南部・シリフケあるいはアランヤ(夏期のみ)から、北キプロス・ギルネまで高速船が運航しており、所要時間約2時間半。いずれも運賃は片道40ドル、往復60ドル前後
 - ・Fergun Shipping 社
<http://www.fergun.net/uk/index.htm>

2. 出入国手続き（旅券、通関）

① 出入国審査（エルジャン空港）

パスポートチェックのみ。入国にあたって滞在目的等を聞かれることはない。

トルコ人は査証免除申請用紙に、その他の外国人は、パスポート・コントロールの審査官ボックスから所定の定型用紙をもらい、氏名、国籍、パスポート番号を記入し、係官のスタンプをもらう。この用紙は、紛失しないよう出国まで大切に保管すること。

エルジャン空港内には小規模な免税店のほか、カフェなどがある。

② 税関申告

旅行者が持ち込むことができる免税品の量は一人当たり以下の通り。

- ・タバコ 400本もしくは500グラム
- ・アルコール飲料 150CC
- ・ワイン 150cc
- ・香水 100cl

③ 特殊な出入国手続きの背景

現在、キプロス島では、国家としては国際社会が承認したキプロス共和国（南側・ギリシャ系）しか存在しないことになっているが、北キプロスにはキプロス共和国の主権は及ばない状況となっている。しかし、国際法上ではキプロス全島はキプロス共和国の主権下にあるとされているため、北キプロスへの入国はキプロス共和国への不法入国とみなされてしまう。パスポートに北キプロス・トルコ共和国の入国印が押されていると、キプロス共和国あるいはギリシャへの入国ができなくなるため、北キプロス・トルコ共和国に入国の際は別紙に入国印を押してもらう必要がある。

3. 両替、支払い・クレジットカード事情

- ① キプロスの通貨は、トルコ共和国の YTL（イエニ・トルコ・リラ）である。ただし、観光地のレストランなどでは南キプロスのキプロス・ポンドも通用する。
- ② ホテルや観光施設などでのクレジットカードによる支払は可能。

4. 空港～市内の交通手段

- ① エルジャン空港から市内までは、シャトルバスのサービスはなく、空港前に待機するタクシーを利用する。所要時間約 30～40 分。タクシーはベンツなどが多く、乗り心地は良い。
- ② タクシーにはメーターがなく、料金は乗車前に運転手と交渉して決める。2004 年 10 月時点での首都レフコシア（ニコシア）への適正な料金水準は 25YTL（約 20 ドル）。
- ③ 運転手は大抵の場合英語を話す。
- ④ 正規の領収書発行は、ほとんどの場合期待できない。

5. 市内交通事情

出張者は事前にハイヤーあるいはレンタカーの予約をすることが確実。主要ホテルや旅行代理店を通じて手配でき、ホテルまで迎えに来てくれるところもある。運転には国際運転免許証が必要。道路は、旧宗主国の英国と同じ右ハンドル、左側通行。また道路標識が非常に小さく、頻繁にロータリーがあるので要注意。

ガソリン代はトルコより安く 1 リットル 1.2 ドル程度。オートマチック車も多い。

レンタカー料金の目安としては、フォルクスワーゲン・ミニバンが 1 日：25 キプロス・ポンド（SUN Rent a Car 社、ガソリン別）。レンタカー・タクシー会社のリストは以下を参照。

<http://www.cypnet.co.uk/ncyprus/city/nicosia/ercan/index.html>

タクシー料金はトルコの 2 倍程度。ただしメーターがなく、外国人は割高の請求をされることもある。市内移動の場合、6YTL（4 ドル）前後で足りることが多い。タクシー乗り場かホテルで呼んでもらい、その場で行き場所を伝え、値段を交渉する。

市バス、ドルムシュ（乗合タクシー）もあるが、トルコほど本数は多くない。午後 7 時以降は運行本数が減少する。

6. 郊外や主要都市間の移動

- ① 主要都市を結ぶ航空便および鉄道はなく、移動手段は長距離バスかタクシーに限られる。特に郊外の遺跡や名所を訪れるには、タクシーかレンタカーを利用するしかない。長距離バスのターミナルは、レフコシャ新市街のロイヤル・ホテル（下記参照）の西側にある。
- ② 長距離バスは、レフコシャーギルネ間が約 30 分、レフコシャーガーズィマウサ間が約 1 時間、ギルネーガーズィマウサ間が約 1 時間で、夕刻まで大体 30 分に 1 本の割合で出発する。

7. 自由化された南北往来

- ① 2004 年 7 月以降、南北の国境をまたぐ往来が自由化された。日本人を含む外国人も、パスポートさえ所持していれば、南北往来は自由である。ビザ協定がある国は事前のビザ取得が必要（トルコ共和国のトルコ人はビザが必要）。
- ② 徒歩での「越境」は、レフコシャ（ニコシア）のグリーンライン（南北休戦ライン）上に建つレドラ・パレス・ホテルを含む 4 ヲ所のゲート（Ledra Palace、Agios Dhometios、Ledra Street、Zodia：2005 年 4 月 18 日付欧州委員会規則（EC No. 601/2005）で 4 ヲ所に拡大）で可能。
- ③ 車での「越境」専用のゲートが、ベヤルムト（Beyarmut）、メテハン（Metehan）、ファマグスタ（Famagusta）の 3 ヲ所にあるが、レンタカーでの移動は不可。
- ④ 北から南への「往路」「復路」に伴う手続きは、以下の通り。
まず、北側ゲートで、北の入国スタンプが押された定型用紙に出国スタンプを押してもらう。次に、南側のゲートでパスポート・コントロールを受ける。その際に滞在場所を聞かれたり、簡単な手荷物検査が行われたりする。南から北への「復路」は、南側でパスポート・コントロールを受けるが、出国スタンプの押印はなし。北側では、出入国スタンプの押された定型用紙に再度入国印を押す。
- ⑤ グリーンライン上ではかつて、越境や示威行動に対する発砲によって死者が出るなど、緊張が高まったこともあるが、南北自由往来が自由化された現在は、平穏が保たれている。

8. ホテル事情

- ① 首都レフコシャ（ニコシア）で、出張者が利用しやすい主なホテルは以下の通り。

- ・ **Saray Hotel** （3 星）

Atatürk Square, PK 447, Sarayönü, Nicosia

Tel: +90 392 228311 5 - 2283002

Fax: +90 392 2284808

E-mail: saray@northcyprus.net

旧市街にあり、タクシー乗り場前にあることから、南への移動や観光に便利。屋上から市街全貌を見渡せる。シングル：47 ドル、ダブル：79 ドル（2004 年 9 月現在）

- ・ **Royal Hotel** （3 星）

19 Kemal Asik Ave., Nicosia

Tel: +90 392 228 76 21-30-11

Fax: +90 392 228 75 80

E-mail: royalhotel@northcyprus.net

新市街にあり、周辺には目立った施設はない。

シングル：50 ドル、ダブル：70 ドル（2004 年 9 月現在）

- ② 海辺の観光地などには、デラックスなリゾートホテルからゲストハウスまで、数多くの宿泊施設があるが、宿泊費はトルコに比べて高め。なお、北キプロスでは 3 つ星以上のホテルにはカジノが併設。北キプロスのホテル情報は以下を参照。

<http://www.cypnet.co.uk/ncyprus/tourism/hotels.html>

- ③ ホテルにおける冷暖房、給水・給湯に特に問題はない。電源は 240 ボルトで、コンセントは英国式の 3 つ足(BF)。飲料水は、市販のミネラルウォーター（北キプロスの代表銘柄は「EVSU」）を利用したほうがよい。

9. レストラン事情

- ① 北キプロスに日本料理店はないが、ギルネ(キレニア)などのリゾート地には中華料理店がある。北キプロスは人口のほとんどがトルコ人のイスラム教徒だが、リゾート地では豚肉も食べることができる。リゾート地の観光客向けレストランは、質の高いものが多い。
- ② 首都レフコシャ（ニコシア）のレストランの数は非常に限られており、日曜日は閉まっていることも多いので注意。セリミエ・モスク前のイタリアン・レストラン SABOR が、外国人に人気がある。また北キプロス(トルコ)料理では、レフコシャ円城の北西外にある MOYRA が現地のビジネスマンらに利用されている。
- ③ キプロス島では、トルコ系やギリシャ系の料理のほか、イタリア、スペインなど地中海料理も好まれ、食文化はトルコよりも国際色豊かである。

・SABOR（イタリア・スペイン料理）

Selimiye Meydan, N0;29, Lefkosa

TEL:90-392-228-8322, FAX:90-542-883-1306

・MOYRA（キプロス料理）

Osman Pasa Cad N:32, Dereboyu-Lefkosa

TEL:90-228-6800

10. 言語・通訳手配

- ① 北キプロスの公用語はトルコ語だが、1960 年まで英国統治下にあったため、英語が通用する。北キプロスのトルコ語は、トルコ本国とは若干アクセントが異なるが、基本的に同じである。
- ② 日本語の通訳手配は難しい。
- ③ なお、キプロスでは、トルコ系住民とギリシャ系住民が混住していたこと、英国の植民地であったことから、地名表記はトルコ語、英語、ギリシャ語併記であることが多い。北キプロスではトルコ語と英語の併記が一般的。言語によって都市名が全く異なる場合があるので要注意。
例：レフコシャ/ニコシア/レフコシャ（トルコ語/英語/ギリシャ語の順。以下同じ）

ガーズィマウサ/ファマグスタ/アモコストス

ギルネ/キレニア(カイレニア)/ケリニア
ラルナカ/ラルナカ/ラルナカ
レイモスン/リマソール/レメソス、
パフ/パフォス/パフォス

11. 気候

地中海性気候で、夏は暑く、乾燥する。7～8月の平均気温は30℃、6月から9月は雨が少ない。冬は、最も寒い1月の平均気温でも9.9℃と比較的温暖だが、山間部では降雪も見られる。

12. 祝日、時差、オフィスアワー

- ① UTC+2、日本との時差は-6時間。夏時間あり。
- ② オフィスアワーは通常9時～17時。ただし、昼休みが長いケースもある。
- ③ 国民の祝日は下記のとおり。

1月1日	新年
4月23日	トルコ独立記念日
5月1日	メーデー
5月19日	青少年の日
7月20日	共和国記念日
8月1日	トルコ社会再興記念日
8月30日	トルコ戦勝記念日
10月29日	トルコ共和国記念日
11月15日	北キプロス独立記念日

※この他、イスラム暦に従った宗教祭日として断食明け祭、犠牲祭がある。

13. 郵便・通信

- ① 通信・郵便事情は、全てがトルコ国内と同じ扱いを受けることになる。
- ② 郵便業務に関しては、北キプロスが国際的に承認されていないため、国際郵便連合が北キプロスを郵送先として認めておらず、北キプロスへの郵便はすべてトルコ南部・メルシンの私書箱経由となる。北キプロスの住所に直接に郵送した場合は、南キプロスがトルコへ回送するため、配達は数カ月の遅延あるいは紛失となる可能性が高いので注意。
- ③ 電話回線はトルコと共有しており、国際電話の国番号はトルコと同じ90+。携帯電話はトルコと同じGSM方式で通話可能。

14. ショッピング事情

- ① 北キプロスにはトルコのような大型スーパーマーケットはない。新市街の北キプロス商業会議所前にある「Onder」が比較的大きなマーケットで、食品など一通りのものはそろっている。旧市街には、観光案内所(ギルネ門)近くに「Lemar」があるがOnderよりは小型。
- ② 物価はトルコより高め。ただし、タバコはトルコより安い。
- ③ セリミエ・モスク横に常設屋内バザールがあり、野菜・果物類、食肉、衣類などを扱っている。

15. キプロス土産

民芸品としては、手編みのレフコシャ・レース、とうもろこしや小麦の茎で作った籠、壺、銀細工などがある。こうした民芸品は、レフコシャのセリミエ・モスクに近い史跡ブユック・ハン (BUYUK HAN) 内にある民芸品ショップで買うことができる。ワインは南北両方で生産されるが、品質は南の方が良いとされる。「HELLIM」と呼ばれるキプロス特産のカシャルチーズは、欧州や中東向けに輸出されている。また、KOLAKAS というタロイモに似た野菜も特産として知られる。柑橘類も豊富。

16. 主な観光地

古代からヨーロッパとオリエントの両世界を海で結ぶキプロス島には、ギリシャ・ローマ時代から中世・近世にいたる多くの史跡が残されており、なかでもレフコシャ、ギルネ、ガーズィマウサなどは有名である。また南キプロスでは、地中海沿岸西部がギリシャ神話の美神アフロディテ生誕の地ともいわれる美しいリゾート地となっており、パフォス、トロードス、キロキティアの3つの世界遺産がある。一方の北キプロスは、16世紀にイスラム世界に抱合されたため、ゴシック様式の聖堂を改造したモスクなど、他国では見られない特徴をもつ建造物が残っており、見ごたえとしては南の世界遺産群をしのぐ素晴らしい史跡がある。

北の主な観光情報や地図はレフコシャの旧市街入り口のギルネ門 (Girne 通り、新市街から旧市街 Saray Hotel 方面へ抜ける道) にあるツーリスト・インフォメーションセンターで、無料で入手できる。

①ギルネ(キレニア)

ギルネは、トルコ人の人気を集めるリゾート地として知られており、週末にはカジノを楽しむトルコ人観光客でにぎわう。港にはビザンツ時代に建てられたキレニア城がそびえており、近くの港には古い倉庫を改装したバーやカフェ、レストランが並ぶ。また郊外には、14世紀のベッラパイス修道院跡や、ギルネの街と地中海を見下ろす絶景の聖ヒラリオン城などがあるが、アクセスは悪くタクシーなどに頼ることになる。

②ガーズィマウサ(ファマグスタ)

キプロス島東部の港町で、北キプロス最大の貿易港。城壁に囲まれた旧市街は、かつてラテン系の君主が君臨したことからゴシック建築とオスマン時代のイスラム建築が混合した他に類を見ない景観を見せている。旧市街の要塞はヴェネツィア時代に改修されたもので、シェークスピアの『オセロ』の舞台として知られている。近郊にある古代ギリシャ時代のサラミス遺跡には美しいビーチが近くにあり、近代アイコン博物館として知られるバーバナス教会もサラミスへの途中にある。

③レフコシャ(ニコシア)市内

北キプロスの首都。ゴシック建築の聖ソフィア聖堂を改造したセリミエ・モスクやオスマン時代の隊商宿などが残る。国連のキプロス平和維持軍やトルコ軍が駐留し、南北を分断する停戦ライン (いわゆる「グリーンライン」) 近くには、内戦の傷跡が残るが、今はいたって平穏。インフラや都市開発は南に比べて遅れが目立つ。南側には遺跡と呼ばれるものはないが5つ星高級ホテルや

北側には見られない現代欧州の雰囲気がある。

④レメソス(リマソール)

南側のレフコシャから車で 南西へ 1 時間ほどのところにある、海岸のリゾート地。南キプロスの空港がある。レメソスは英国のリチャード獅子心王が第 3 次十字軍の途中ナバルの王女と結婚式を挙げたことで知られている。近郊には十字軍時代のコロッシ城やクリオンの古代遺跡などが残されている。

⑤パフォス

キプロス島の南西部にある南キプロス最大のリゾートで、パフォス要塞がある港の一角のローマ遺跡は、ユネスコの世界遺産に指定されている。パフォスからレメソス方面に約 25 キロ行ったところには、アフロディテ生誕の地と呼ばれるペトラ・トゥ・ロミウ海岸があり、近くにはアフロディテ神殿跡も残る。

⑥自然資源

北キプロスには、東部カルパス (Karpas) 半島の砂浜を中心に海亀 (Caretta-Caretta、Chelonia-Mydas 種) の産卵地があり、保護と同時に観光化に向けた取り組みがなされている。カルパス半島には貴重な渡り鳥の営巣地もあり、バードウォッチングを楽しめるほか、植物では蘭の種類が豊富とされる。スキューバダイビングでは、古代沈没船を見学するものもある。このほか、クレーショット、ハンティング、スカイパラシュートなども楽しめる。

17. トルコとの経済関係

<貿易> (データ出所は IGEME (トルコ輸出振興センター))

トルコへの輸出 : 2,290 万ドル (前年比 25.1%増)

カシャルチーズ、オレンジ、ラク、ウイスキー

トルコからの輸入 : 2 億 9,930 万ドル (前年比 53.5%増)

建設鋼材、医薬品、衣料品、ディーゼル油、コンピュータ部品

貿易収支 : 2 億 7,640 万ドルの赤字(前年比 56.4%増)

IGEME によると、94 年に EU が北キプロスに対する通商制裁を発動させた結果、トルコと北キプロスの貿易額は 95 年に 53.9%増となった。それ以降、トルコは北キプロスの主要な貿易相手国であり、北キプロスの入超が続いている。

<投資>

① トルコ財務庁の統計によると、北キプロスに対するトルコの投資額は 2003 年までの累計で 8,065 万ドル、進出しているトルコ企業数は 123 社となっている。投資額は銀行部門が最大で、全体の 84.1%を占める。次いで観光部門が 6.9%、その他の金融サービスが 3.0%、通信が 2.5%となっている。

② 主要な進出企業は、国営ジラートバンク、民間のイシュバンク、ガランティバンク、フィン

スバンクのほか、移動体通信トゥルクセル、保険会社のアク・シゴルタなど。

18. 輸送事情

- ① トルコとの物流は、トルコ南部地中海岸のメルシンと北キプロスのガーズィマウサ間が主要ルートで、シリフケーギルネ間も利用されている。
- ② 国際的に承認されていない北キプロスの港は正式な積出港として認知されないため、日本も含む対外向け物流ルートは、ほとんどがトルコのメルシン港経由となる。
- ③ ただし、ウクライナやイスラエルとは直行航路も開設されている。

19. 日本との経済関係

日本は北キプロスを国家として承認していないため、国交および正式な経済関係はない。進出している日系企業もないが、日本とトルコの合弁企業を通じた経済関係は存在する模様。2003年の北キプロスの日本からの輸入額は1,535万ドルと輸入全体の3.2%を占め、中古車、自動車部品、タイヤなどが取引されている。一方、北キプロス（主にファマグスタ）から養殖魚を輸入し、トルコのメルシンで加工した製品が日本へ輸出されている（ダーダネルス社）。

20. 各種経済団体

- ・北キプロス商業会議所 (Turkish Cypriot Chamber of Commerce / KTT0)
Bedrettin Demirel Caddesi No:90 P.K. :718 Lefkoş a- MERSİ N 10 TURKEY.
Tel: 90 392 228 37 60 / 228 36 45
Fax: 90 392 228 30 89
<http://www.ktto.net>
E-mail: webmaster@ktto.net, ktto@ktto.net

- ・北キプロス企業家協会 (T. R. N. C. BUSINESSMEN ASSOCIATION / İ Ş AD)
Seyit Hüseyin Sok. No: 8,
Küçükkaymaklı , Lefkoş a - MERSİ N 10 TURKEY.
Tel: 90 392 227 8446 Fax: 90 392 228 2702
<http://www.kkctcisad.org>
E-mail: mem@north-cyprus.net

- ・IGEME (トルコ輸出促進センター、北キプロス支所)
Sakarya Sok, Mertcan 5 Apt N:22, K:3, D:5, Koskluciftlik, Lefkosa, Mersin10
TEL: 90-392-227-1176, FAX:90-392-227-2031
<http://www.igeme.org>
E-mail: igeme-kkctc@superonline.com

21. 観光案内、病院、警察等の電話番号

ツーリストオフィス (TEL)

Nicosia	227 5051
Famagusta	366 2864
Kyrenia	815 2145
Ercan Airport	231 4737

病院

Nicosia	228 5441
Famagusta	366 5328
Kyrenia	815 2266
Güzelyurt	714 2125

警察

Nicosia	228 3311
Famagusta	366 5310
Kyrenia	815 2125
Güzelyurt	714 2140

北キプロスに関する詳しい情報収集は、下記サイトを参照。

<http://www.cypnet.co.uk/ncyprus/root.html> (英語)

<http://www.holidayinnorthcyprus.com/> (英語)

以 上